

施策の方向性の考え方について

防災・防犯分野

区 の 補 助 計 画 等 の ま と め	1 防災・防犯分野の政策課題	2 課題解決に向けた施策の方向性
	<p>(1) 地域住民による共助の取組への参画を促進するとともに、地域防災リーダー育成を一層推進する必要がある。</p> <p>(2) 災害時における公共交通機関の混乱による多数の帰宅困難者の安全を確保するため、民間施設等の滞在場所の確保及び受け入れ施設への支援態勢を整備する必要がある。</p> <p>(3) 災害時において、外国人、旅行者、高齢者、障害者等に配慮した多様な情報提供・伝達手段を確保する必要がある。</p> <p>(4) 近年の異常気象に伴う時間50ミリを超える豪雨により多数の被害が出ており、更なる治水対策が必要である。</p> <p>(5) 避難所での生活ニーズに対応できるよう、資機材の更新や円滑な避難所運営等、ソフト・ハード両面で避難所の機能を強化していく必要がある。</p> <p>(6) インターネット上での犯罪(架空請求、仮想通貨詐欺、コンピュータウイルスによるハッキング、データの破壊等)が急増しているため、サイバー犯罪への対策を講じる必要がある。</p> <p>(7) 高齢者を標的とした特殊詐欺が多発しているため、より効果的な特殊詐欺対策が必要である。</p> <p>(8) 防犯ボランティアの主体となる地域の団体、人材について、幅広い層からの協力が不可欠なため、新たな活動団体・防犯ボランティア人材を発掘・確保する必要がある。</p>	<p>【5年後】</p> <p>(1) 地域防災リーダーの育成に必要な研修等の支援を充実させていく。</p> <p>(2) 民間一時滞在施設を確保するため、協力施設への備蓄等支援を整備していく。</p> <p>(3) 災害時における外国人等に配慮した情報提供・伝達手段の整備を推進していく。</p> <p>(4) 更なる治水対策について、関係区と連携し東京都へ要望するとともに、今後も引き続き流域対策として雨水流出抑制施設の整備を推進していく。</p> <p>(5) 近年の大規模災害から避難生活ニーズを整理し、必要な対策の準備を推進していく。</p> <p>(6) 防犯ボランティア人材の新たな発掘を行い、若者や女性が防犯ボランティアに参加できる体制を構築していく。</p> <p>(7) 特殊詐欺対策用の防犯機器の貸与や、高齢者等への防犯対策の広報周知を推進していく。</p> <p>【10年後】</p> <p>(1) 地域防災リーダーによる地域住民への防災・減災の啓発活動を支援することで、共助への取組を推進していく。</p> <p>(2) 民間一時滞在施設を含めた帰宅困難者対応訓練を実施し、交通機関利用者への防災意識を啓発していく。</p> <p>(3) 災害時における外国人等に配慮した情報提供・伝達手段を充実させていく。</p> <p>(4) 避難所での生活ニーズに配慮した支援の準備を推進していく。</p> <p>(5) 若者や女性の防犯ボランティアへの体制を支援し、共助への取組を推進していく。</p> <p>(6) 高齢者世帯等への防犯対策を更に推進していく。</p>



審 議 会 ま と め	3 審議会での主な意見	
	<p>○ 一般の避難所整備だけでなく、災害弱者が利用する福祉避難所をどう充実させていくかという視点も重要ではないか。</p> <p>○ 公助から共助へというのは理解できるが、共助を推進するのは公助の後退を意味するわけではないので、公助が環境を整えた上で共助を推進するといった公助の土台があることを明確にするべきである。</p> <p>○ 地域防災リーダーの育成も大事だが、実際の活動でも、個人より避難所運営協議会の充実が大事だと感じるのでそこに力を入れてほしい。</p> <p>○ 災害時には状況をいち早く知ることが重要である。情報ネットワークや情報を共有できる環境を整備してほしい。</p> <p>○ 首都直下地震の発生予想時期を考えると、この計画期間中に起こる可能性があるため、広域の大災害への備えが必要である。目黒区内だけではなく、外部との連携なども事前に想定しておく必要がある。発生後の復旧・復興についても追記してほしい。</p> <p>○ 防災分野にジェンダーや人権の視点を入れるべきではないか。避難所運営協議会などにおいても、トイレなど様々な問題があるが、日常からの啓発をしていく必要がある。今後は、多様性がますます重要になってくると考える。</p> <p>課題解決の方向性の5年後に「特殊詐欺対策」が記載されているが、それは正に今取り組んでいることであって、将来の姿としてふさわしいのか。</p> <p>○ 防犯カメラの積極的な活用を含めてICTを活用した防犯体制の充実を図るべきではないか。防犯カメラは監視用ではないこと、有事の使用もプライバシーを侵害せず有効活用ができることなど、区民への啓発・PRが必要ではないか。</p>	
	4 防災・防犯分野の概ね20年後の区の将来像やあるべき姿【キーワード】	
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 災害時における避難所等の機能強化 ○ 地域防災リーダー、避難所運営協議会等の充実による地域防災力の向上 ○ 帰宅困難者対策の充実 ○ 災害時における情報収集・発信力の強化、情報ネットワークの整備 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 関係機関と連携した特殊詐欺被害の防止 ○ 地域防犯ボランティアの活動の推進 ○ 防犯設備の啓発による整備の促進